

はぐくむ光 のびる若芽

(238)

篠本一区 前田 啓子

我が家は、2人の息子、猫と大型犬の6人と2匹の家族です。

私達は、4年前に私の実家に越して来ました。

長男は小5、次男は小4の時でした。環境の違い、仲の良かつた友達と離れ、新しい友達がすぐにできるか心配でした。

でも、日吉の皆さんに温かく迎えられ、不安もすぐになくなり「生まれた時から、ここで育つたようだね。」

と言われるほど、日吉にとけ込んでいきました。

中2の長男、善之介は本が好きで、人前で話を

するのが苦手という、のんびり屋でしつかり者。

勉強よりもテニスに力を入れて、朝から練習に励んでいます。今年は、生徒会本部役員となり、また新しい自分の力を発見しようとしています。

中1の次男、真之介は成長過程で大切とされる

反抗期。口を聞いても、あ言えば「うう言うで、なかなかの口答え。でも、私もハッとする言葉が返ってきて、反省しなくてはと気づかせてくれます。頑固で意志が強く、ひょうきん者。卓球でも「負けたくない。」

練習に励んでいます。夕食の時など、家族全員に笑い声をもたらしてくれます。核家族でスタートした私は、夢中で子育てをしてきました。ストレスで怒ってばかりというような気がする埼玉での生活。現在は、両親に助けてもらい、2人の良き理解者になってくれています。主人も、息子達といふ時は、しつかりと話をして、試合の応援に行ったりしてくれています。書

いつまでもやさしい心を忘れずに



長寿の秘訣

篠本地区では、寒空にも負けず、元気なおじいちゃん・おばあちゃん達がゲートボールに集まります。「風邪はひかないかい?」「今日の調子はどうだい?」とお互いを気遣い支えあっています。今回はそのゲートボール仲間の一人伊橋さんをご紹介します。

◎ボケない工夫
伊橋さんは、ボケないと努力されていることがあります。1つは手芸です。古い着物や着なくなつた洋服をリフォームし、巾着やアーミカバー等いろいろなものを作っています。「この生地で何ができるかな」と考えながら作るのがとても楽しいそうです。また、作ったものをゲート

ボール仲間や遊びに来た人にプレゼントしているそうです。手芸は手先を使う細かい作業ですが、伊橋さんはとても丁寧に足腰の鍛錬になっていま



伊橋あささん (88歳)
(篠本三区)

今月の顔 シリーズ(70)

ています。

橋さんは10年来日記をつけています。その日の天気、どこへ行つたか、何をしたかと日々の出来事を日記に書きとめています。文字にして改めて考え頭を使い、書くことで手先も使いますね。

◎好き嫌いなく何でも食べる

伊橋さんは、食べ物の好き嫌いがなく、なんでもおいしく食べられます。

特に野菜は家族みんなで作った新鮮なものを心がけて取るようにしています。魚では特に「さんま」や「いわし」などを好んで食べています。

◎ゲートボールが元気の秘訣

伊橋さんは、午後お天気の悪いとき以外は、ほぼ毎日ゲートボールに出かけゲームを楽しみます。

ゲートボール場まで歩いて行き、1時間以上ゲートボールを楽しむことで、

そこで手先を使つて、手先を使うこと、考

えることがボケ予防につながつ

(保健師 山下)

